

発言No. /

受付No. /

令和 6 年 11 月 15 日
15 時 53 分 受付

委員会代表質問発言通告書

産業建設委員会委員長

川上 幾雄

質問者：議席番号 8 番

氏名 川上 幾雄

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

産業建設委員会は取組課題の 1 つである「建設業の問題点と課題」について、去る 7 月 22 日に市内建設業協会関係者と、建設業界の抱える問題や市へ求めることなどについて意見交換を行った。意見交換会で出た地域要望の処理がどのようになっているのか、また、災害防除の現状について委員会として把握するため、11 月 8 日及び 13 日に市内の未対応危険箇所を都市建設部及び各支所産業建設課の案内で視察した。

これらを踏まえ、以下のとおり委員会代表質問をする。

1 市内建設業者及び労働者の現状について

- ① 建設業者の経営状況の現状を市はどのように受け止めているかを問う。
- ② 建設業に係る労働者の現状を市はどのように受け止めているのかを問う。

2 災害対応及び除雪対応について

- ① 災害時にどのような対応を検討したかを問う。
- ② 除雪時にどのような対応を検討したかを問う。

3 市の建設業に関連する予算及び事業について

(1) 建設関連予算の推移について

- ① 建設関連予算の平成 27 年以降の推移について問う。

(2) 建設事業の現状について

- ① 災害防除工事の発注状況について問う。

4 未対応危険箇所について

- ① 平成 28 年以降の未対応危険箇所の推移について問う。
- ② 今後の未対応危険箇所への対応を問う。

一般質問発言通告書

議席番号 5 番

氏名 沖田真治

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. まち・ひと・しごと創生総合戦略について

第2次石破内閣が発足され首相より「私も先頭に立ちまして、この地方創生、一丸となって実現をしたい」と思っております。」と推進していく方針が示された。本市において令和3年2月には「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス」を策定され「若者が暮らしやすいまちづくり」をキャッチフレーズに人口減少対策と新たな生活様式に向けた取組を打ち出された。

浜田市長として地方創生をどのように捉え実行していくのか？総合戦略に基づく取組は、どのように市民生活に結び付き抱えている課題を解決していくのか？と考え以下のとおり質問する。

(1) 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働ける取組について

- ① 市内事業所に対し、地域の特性に応じた支援としてどのようなことを行っているか伺う。
- ② 新規創業も稼ぐ地域に重要な役割を果たす。市として、現在順調に成果が出ている新規創業を今後、どのように考え支援を行っていくのか伺う。
- ③ 地場産業の振興において、域外マネーを地域で循環させる仕組みづくりが重要であると思うが市としての考えを伺う。

(2) 子どもを安心して産み育てる環境をつくる取組について

- ① 市内における子育て拠点整備は概ね出来上がり、利用者も目標値を上回り、進捗評価は高い状況となっている。施設が整備された後、どのような支援が必要と考えているのか伺う。
- ② 子育て環境において、子どもが学校へ通う通学路の安全確保は重要であり、本市が取り組む通学路等緊急安全対策事業、歩道整備事業は継続的に行っていくべきである。市として事業の継続をどのように考えているのか伺う。
- ③ 多様な働き方や福利厚生の実施した企業という点において、都会地と比べ地方は圧倒的に不利な状況にある。本市において多様な働き方、福利厚生の実施を図ることが多くの課題解決につながると考える。浜田市独自の支援策について検討する気はないか伺う。

発言No.

2

受付No.

4

令和6年11月20日

10時55分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 8 番

氏名 川上 幾雄

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 水道事業の現状・将来について

(1) 公営企業化後から現在までの運営について

- ① 運営状況を損益で問う。
- ② 運営における繰入金の推移を問う。
- ③ 耐震化に要した費用の推移を問う。

(2) 耐震化等の促進について

- ① 遅れている耐震化促進計画の現状を問う。
- ② 老朽化している施設更新計画の現状を問う。

(3) 将来の運営について

- ① 今後必要な耐震化・施設更新費用について問う。
- ② 運営上損益の拮抗する時期を問う。
- ③ 赤字発生への対応を問う。

2 はまだ市民一日議会での発言テーマ「石見地域循環共生協議会」について

- ① 「石見地域循環共生協議会」発足についての所感を問う。
- ② 石見地域循環共生協議会の提案案件について検討する機会を設けるかどうかを問う。

発言No.

3

受付No. 17

令和6年11月22日

10時24分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、協働のまちづくりの推進状況について

- ①地区まちづくり推進委員会の設立状況は、令和6年度末で何組織となる見込みで、設立できていないのは何地区なのか問う。
- ②市内には、まちづくり推進委員会と連合自治会が統合されている地区があり、振興会、自治会、地域振興会などの名称で、まちづくり推進委員会に再編されているのは、何地域あるのか問う。
- ③協働のまちづくり推進のアンケートでは、地区まちづくり推進委員会の活動について、「知っている」、「ある程度知っている」を合わせても、約37%と少なく、市政の大きな柱にしては知られておらず、まちづくり推進委員会の体制のあり方、担うべき事業、地域にある各団体を束ねることができていないのではないかなと思うが、状況とその考えを問う。

2、市民の安全安心の環境の整備について

- ①市道に隣接しておらず救急車、消防車などが救急業務に容易に対応できない、消火活動に支障のある地域は何か所あり、何世帯あるのか問う。
- ②里道などは地方自治体に移管され、地域での生活道は、市道に加え多くの里道で支えられているが、緊急自動車が入れないなど市民の安全安心に支障がある場合、道路の改修の責任が市にあると思うが、どう対応する考えか問う。

3、高速道路を生かした地域振興策の推進について

- ①浜田道路、江津道路の通行量は新型コロナウイルス前の水準にまで戻っているのか、通行量の推移はどうなっているのか問う。
- ②観光の振興、人流の増加を図るためにも、浜田道路、江津道路の割引制度を拡充すること、無料化することなどの働きかけを、県西部高速道路利用促進協議会の会長である浜田市として、強力に進める必要があるのではないかなと思うがその考えを問う。

4、石見神楽伝承内容検討事業のこれからについて

- ①石見神楽伝承内容検討事業とあるが、伝承したものをどう生かすのか、どう市民や観光客に見てもらい、地域の振興につなげるのか、どのような事業化を構想しているのか問う。
- ②石見神楽を鑑賞する拠点づくりが必要となるが、どのようなことを構想し、どのように進める考えか問う。

5、新型コロナウイルス対策について

- ①市民の死亡者数は、新型コロナウイルスが始まる前、令和2年から3年、4年は大幅に増え、10%以上増えているが、これは新型コロナウイルスによるもの、またはその影響による死亡ではないかと推測できるが、どのような所見か問う。
- ②10月から始まったワクチン接種の状況は、対象者に対する接種済み者数などはどのようになっているのか、その状況を問う。
- ③ワクチンに対する懸念を示している市民が多数いるが、このような市民の声をどのように掌握しているのか問う。

6、学校給食センターの運営体制について

- ①学校給食の無償化に向けた取組、考え方と現在の検討状況を問う。
- ②学校給食センター職員の給与水準は、同じ教育行政の傘下にある、三隅学校給食を担っている職員、浜田市教育文化振興事業団などと比較してどのような水準にあるのか問う。

—以上—

発言 No.

4

受付 No. 3

令和 6 年 11 月 20 日
10 時 00 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 19 番

氏名 田 畑 敬 二

答弁を求める者 ☒ 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

市内の市道に於ける整備未対応危険箇所の現地確認を産業建設委員会として行った。
通学路緊急対策事業・危険木支障木緊急除去事業・農道維持事業・路肩保護事業等の対象となる 30 箇所を確認した。その中で災害防除事業 3 件、3 か所について質問を行う。

1. 災害防除事業（落石対策）について

- ① 市道石見北 61 号線の災害防除事業対象箇所は、幅 600m、高さ約 30m で、市道は広浜鉄道用地である。下段には住宅があり、現状は崩壊ブロックで対策はしてあるが、大雨時には山の崩落、下段の住宅を巻き込んだ大災害になると考えられるが市長の所見を伺う。
- ② この市道の工事計画を伺う。
- ③ 金城町長田地内の市道長田 17 号線の災害防除事業対象箇所は高さ 20m であるが、上段に国道 186 号線があり、現状は崩壊ブロックで対応をしてあるものの、近くに民家が在り対応が急務であると思うが市長の見解を問う。
- ④ この市道の工事計画を伺う。
- ⑤ 三隅町西河内地内の三保 53 号線の災害防除事業対象箇所は、幅 70m、高さ約 15m で、市道奥に住宅が 10 件程度あり、生活道として大変に危険な状況にあると思うが市長の認識を問う。
- ⑥ 今後の工事計画を伺う。